

第60回中日理論言語学研究会 2024/01/21

中国語教科書における「視点」のあり方

—日本語との対照を通して—

彭 広陸（北京理工大学）

1

1. はじめに

2

認知言語学の発展にしたがって「視点」に関する研究がますます脚光を浴びるようになっている昨今であるが、更なる多角的アプローチが必要になることは言うまでもない。

発表者は、2008年に「中国語は視点移動型の言語であり、日本語は視点固定型の言語である」という仮説を立ててから一連の論文を発表してきたが、本発表も、その一環として、外国人向けの中国語教科書を対象に、会話文での「視点」に関わるいくつかトピックに焦点を絞ったうえで、日本語との対照を通して、中日両語における「視点」の相違を究明することを目的とするものである。

3

2. 「視点」の諸相

4

2.1 「視点」とは何か(1)

《視点》という用語は、心理学、物語論など、多くの領域において様々な意味で使用されてきた。言語学に関しては、次のような規定が見られる。

認知言語学において、パースペクティブ／視点 (perspective) とは、概念主体が事態を描き出すにあたって、外部世界の知覚に基づきながらどういった視点配置 (Viewing arrangement) で捉えるかといった主体的概念操作と位置付けられる。パースペクティブにはとりわけ基点 (vantage point) と方向性 (directionality) および「心的走査 (mental scanning)」という概念に関わると考えて良い。

(辻幸夫編『認知言語学大事典』(p.289) 小熊猛執筆)

5

2.1 「視点」とは何か(2)

発表者なりに平たく定義づけると、次の通りとなる。

《視点》とは、単語・連語・文・テキストそれぞれの言語単位における言語主体 (命名者・話者・作者・語り手を含む) の事象への捉え方である。具体的に言うと、事象を、誰が見ているのか、どこから見ているのか、どの部分を見ているのか、どのように見ているのか、という言語主体の心理的操作であり、かつ何らかの形で言語化されたものである。

6

2.2 発表者による仮説

類型論的に見て、日本語は《視点固定型》の言語であり、中国語は《視点移動型》の言語であるというのが発表者の仮説である。固定的な視点移動型と移動型とを相対的な分類であり、本質的に視点が移動する型と移動しない型とを比較して、視点移動型は、移動の頻度が高いということなのである。

注：出原 (2021: 121) には「静態心理学では視点は移動する方がデフォルトとして考えられているようだ」とある。

7

2.3 「視点」に関わる諸概念

発表者による用語	説明	従来の用語
視者	見る人 (誰が見るのか)	視点人物
視焦	見る焦点 (どこ・何をみているのか)	注視点
視角	見る角度 (どこから見ているのか)	(視座)
視所	見る場所 (どこで見ているのか)	視座
視域	見える空間的範囲 (どこまで見えるのか)	視野、ヴァイスタ
所視	見たこと (どのように見えるのか、何が見えるのか)	見え
視線	目の中心と見ている対象とを結ぶ線。見つめている方向	
視状	見るときの様態 (どのように見ているのか)	

8

2.4 「視点」に関する分類

- ①《主観的視点》《客観的視点》
- ②《空間的視点》《時間的視点》《心理的視点》
- ③《無制限な(無設定の)視点》《内的視点》《外的視点》

9

2.5 発表者によるこれまでのアプローチ

- (1) 「日本語の文における人称性」北京外国语大学日语系編《日本学研究论丛》第1輯，高等教育出版社，1994
- (2) <从翻译看日汉移动动词「来／行く」和「来／去」的差异>《日语学习与研究》2008年第4期
- (3) <日语研究中的“视点”问题>《认知语言学入门》外语教学与研究出版社，2008年
- (4) 「日文中訳から見た日中両語の移動動詞—「来る／行く」と「来／去」を中心に」《日语动词及相关研究》外语与教学研究出版社，2009年
- (5) 「日本語の表出文をめぐって—中国語との対照研究を兼ねて—」『対照言語学研究』第19号、海山文化研究所、2009年
- (6) <視点与会話の主語隠現—以汉语对比为中心>《日语研究》第8輯，商务印书馆、2011年
- (7) 「日中の『ナル表現』の相違はどこから生じるか—視点の観点から考える—」『日本認知言語学会論文集』第12巻、2012年
- (8) 「新聞記事における主語のあり方と視点との関わり—中日両語の比較を中心として—」『対照言語学』第23号、海山文化研究所、2013年
- (9) 「日本語の場所指示名詞に関する一考察—中国語との比較を通して」《外语教育研究》2014年第4期
- (10) <“視点”纵横谈>《语言学研究》第16輯，高等教育出版社，2014年
- (11) 「名詞の語彙的な意味における『視点』のあり方—中日両語の比較を中心に—」大東文化大学大学院外国語学研究所『外国語学』第17号、2016年
- (12) 「日中両語のヴォイスに見られる視点のあり方」『言語の主観性—認知とポライトネスの接点』くるしお出版、2016年
- (13) <关于日汉语言认知模式的一个考察—以“出入”与“内外”的关系为例>《东北亚外语研究》2020年第4期（总第31期）
- (14) 「視点から見た所在の尋ね方—日中対照を中心に」『東アジア国際言語研究』第4号、2023年
- (15) 「姿勢動詞再考—日中対照を中心に」『現代中国語研究』第25期、朝日出版社、2023年

10

3. 資料

- 马箭飞主编《汉语口语速成 入门篇 上册》北京大学出版社，2015年第1版
- 马箭飞主编《汉语口语速成 入门篇 下册》北京大学出版社，2015年第3版
- 马箭飞主编《汉语口语速成 基础篇 上册》北京大学出版社，2015年第3版
- 马箭飞主编《汉语口语速成 基础篇 下册》北京大学出版社，2015年第3版
- 马箭飞主编《汉语口语速成 提高篇》北京语言大学出版社，2006，第二版
- 戴桂英、刘立新、李海燕编著《初级汉语口语》北京大学出版社，2004年，第二版
- 刘德联、刘晓雨编著《中级汉语口语》北京大学出版社，2004年，第二版
- 李晓琪主编、任雪梅、徐晶凝编著《博雅汉语·初级起步篇》北京大学出版社，2013年，第二版
- 刘珣主编《新实用汉语课本1》北京语言大学出版社，2010，第2版
- 刘珣主编《新实用汉语课本2》北京语言大学出版社，2002，第1版
- 王淑红、玄书君、严昶、张葳编著《发展汉语 初级口语（I）》北京语言大学出版社，2012年，第2版
- 王淑红、玄书君、严昶、张葳编著《发展汉语 初级口语（II）》北京语言大学出版社，2012年，第2版
- 路志英编著《发展汉语 中级口语（I）》北京语言大学出版社，2011年，第2版
- 蔡永强编著《发展汉语 中级口语（II）》北京语言大学出版社，2011年，第2版

11

12

4. 指示詞について

13

4.1 “这” —「ソ」(1)

- 小叶：她买了什么东西？
莉莉：她买了三件衬衣、两条裙子，还有一顶帽子。
小叶：嗨，买了**这么多**。（入门篇 下册 p.16）（**そんなに**）
- 莉莉：你看，我又买回来一些书。
小叶：**这么多**，你都准备寄回过去，是吗？（入门篇 下册 p.107）
（**そんなに**①3人、②4人）（**こんなに**①、6人②5人）
- 田中：我们约好早上六点半出发。
英男：**这么早**，怎么起得来呢？（入门篇 下册 p.124）（**そんなに**）
- 老师：我看，出去旅行你最好找个伴儿，可以互相帮助。
英男：我也**这么想**。我准备跟保罗一起去。（入门篇 下册 p.124）（**そう**）
- 刚才我去他那儿的时候，他正在给一家公司打电话。听说**这家公司**正在招聘职员。（入门篇 下册 p.3）（**その**）
- 小于：就靠你那点儿工资，等你攒够了，房价也早就涨上去了。
小孙：照你**这么说**，我这辈子没希望住上自己的房子了。
小于：我不是**这个意思**，我的意思是买房子光靠攒钱是不行的，…（提高篇 p. 63）

14

4.1 “这” —「ソ」(2)

- 张英：你知道吗？肖强要去上海工作了。
黄勇：真的吗？我原来一直以为他会考研究生的。
张英：大家都**这么**想来着，所以我听到他去上海的消息，也觉得有点突然。（基础篇上册 p. 121-122）（**そう**）
- 飞龙：我发觉望月停谦虚的。
汤姆：我也**这么想**。不过她性格有点儿内向。（基础篇上册 p. 122）（**そう**）
- 汤姆：这次旅行你感觉怎么样？
李钟文：吃得好，住得好，玩儿得也好，从头到尾别提多开心了。
汤姆：**这么说**十全十美了。（基础篇下册 p. 3）（**そう**）
- B：你真不用去了，那儿我去过，东西真不如大商场的好。
- 刘：你脸色怎么**这么**不好？是不是哪儿不舒服？（提高篇 p. 10）
A：**这**我知道，一分钱一分货嘛。（基础篇上册 p. 89）（**それ**）
- 老王：你别说我了，你天天爬楼梯减肥，肯定也是你爱人的主意。
老董：**这**谁都知道，她是为我好，怕我得病。（基础篇上册 p. 99）（**それ**）

15

4.1 “这” —「ソ」(3)

- 李钟文：要说印象最深，还是悬空寺。
汤姆：听**这**名字就让人害怕。（基础篇下册 p. 3）（**その**）
- 爱珍：有意思是有意思，只是我觉得花钱太多了。
望月：**这话**你只说对了一半。（基础篇下册 p. 48）（**その**）
- 黄勇：你怎么买**这种**样子的帽子？真没想到！
张英：怎么了？（基础篇下册 p. 24）（**そんな**）
- 飞龙：我想换个手机，去哪里买比较好？
黄勇：离学校不远有个苏宁电器商城，那里手机品种很多，可以去那里逛逛。
飞龙：**这个**苏宁电器商城怎么走？（基础篇上册 p. 89）（**その**）
- 飞龙：你又上网追剧呢！**这个**连续剧又慢又长，别看了。
望月：谁说的？我觉得挺好看的。（基础篇下册 p. 25）（**その**）
- 望月：我晕车，坐火车还行，坐汽车时间一长就想吐。
张英：原来是**这样**。吃点儿晕车药就好啦。（基础篇下册 p. 3）

16

4.2 “这” —「ア」

- 这家商店的东西正在打折。商店里顾客真不少，有的正在挑东西，有的正在排队交钱。咦，**这位**先生在做什么呢？（入门篇 下册 p.3）（**あの方**）

17

4.3 “这” —「こ」

- 马丁：小马，你点的**这个**菜很好，清淡可口，很合我的口味。**这是**什么菜？看起来很容易做。
小马：**这是**清炒豆苗，是很容易。“清炒”的意思就是不加调料，只用油和盐炒一炒就行了。（提高篇p. 37）（**この・これ**）
- 王英：什么事？尽管说吧。
胡峰：**是这样**，这次英语分班考试我考了59分，……（提高篇p. 81）
- 王老师：**这样**吧。学校有规定，考试没通过或有特殊情况的学生可以补考，你可以先去参加婚礼，然后回来补考，怎么样？（提高篇p. 117）
- 东民：**这么**着吧，来一个家庭套餐，再来三个汉堡……（中级口语（I） p. 96）

18

4.4 “那” —「そ」(1)

- 左拉：那你肯定没我游得快。
飞龙：是吗？**那可**不一定。（基础篇下册p. 14）（**それ**）
- 汤姆：在中国，什么运动最受欢迎？
黄勇：以前是足球，现在不太好说了。
汤姆：为什么？是不是现在的人不喜欢足球了？
黄勇：**那倒**不是。（基础篇下册p. 15）（**そう・それ**）
- 左拉：别提了！昨天我知道了成绩，不及格。
张英：**那你**多倒霉啊！还得补考。（基础篇下册p. 129）（**それ**）
- 望月：八岁生日的时候，爸爸送我一套精美的邮票。从**那时**起，我就开始集邮了。（基础篇下册p. 15）（**その**）
- 老王：以前我早上爱睡懒觉，现在每天六点准时起床。
老董：**那么**早？你起得来吗？（基础篇下册p. 15）（**そんなに**）
- 麦克：对。你打得也不错。我叫麦克，你贵姓？
黄勇：别**那么**客气。我叫黄勇。（基础篇下册p. 117）（**そんなに**）
- 张英：等第二阶段开始，比赛肯定会精彩激烈的。
黄勇：**那**当然了，淘汰赛嘛，到时候谁输谁就得回家。（基础篇下册p. 93）（**それ**）

19

4.4 “那” — ？

- 望月：怎么样？现在还疼吗？
汤姆：好多了，不想开始几天**那么**疼了。（基础篇下册p. 15）
- 张：租几张惊险的、恐怖的，上次我们看的**那张**多刺激！
（提高篇p. 111）
<過去のこと>
- 对这个问题我没你**那么**乐观。（提高篇p. 111）

20

4.5 人称代名詞＋指示代名詞

- 黄勇：可咱们几个人里边，就你最了解他了。
- 张英：你们跟他也不错呀。他这个人非常老实，有点儿内向。
(基础篇上册p.122)

21

4.6 場所名詞化(人名詞＋“那儿(那里)”)

- 刚才我去他那儿的时候，他正在给一家公司打电话。听说这家公司正在招聘职员。(入门篇 下册 p.3) (彼のところ)
- 小叶：昨天你去哪儿了？我找了你好一天也没找到。
莉莉：我去朋友那儿了，一直待到十点才回来。(入门篇 下册 p.91)
(友達のところ)
- 莉莉：你把它送到小雨那儿吧。上次我的电脑就是让小雨给修好的。
(入门篇 下册 p.179) (小雨のところ)
- 保罗：那水煮牛肉呢？他们这儿虽然不是川菜厅，可是这道菜做得非常地道。(提高篇p.17) (ここ)
- 珍妮：别客气，好久没来你这儿了，你这儿越来越像家了。(初级口语 (II) p.39)
- 铃木：好。哎，我的钥匙呢？在你那儿吗？(初级口语 (II) p.234)
- 大卫：在我们那儿，人们认识也好，不认识也好，见了面都互相问候，…
(中级口语 (I) p.32)

22

4.7 比較

- <イマ・ココ>を参照点とする指示詞は、中国語と日本語では、大きな違いが見られる。中国語が“这/那”という二項対立となっているのに対して、日本語は「コソア」という三項対立となっているのである。従来、中日両語の指示詞の対応関係は、次のように捉えられてきた。

这	那
コ	ソ ア

実際には、次のような対応となっているのである。

这	这那	那
コ	ソ	ア

- 中国語の“这”が主に目の前性を表現するのに対し、“那”は往々にして否定的な表現に使われることを指摘しておきたい。

23

5. 主語 (主題) について

24

- 友美: 你叫什么名字:
马丁: 我叫马丁。
友美: 你是哪国人?
马丁: 我是英国人。(初级口语(1) p. 31)
- 朴大中: 我是张总的朋友。我叫朴大中。
马 丁: 我也是张总的朋友。我叫马丁。(初级口语(1) p. 109)
- 丁力波: 你不去看病, 明天你还不能上课。
- 师傅: 您给我二十块钱, 我找您六块。(汉语课本1, p. 155)
- 马大为: 力波, 上午十点半, 你妈妈给你打了一个电话, 我告诉她你不在。我让她中午再给你打。(汉语课本1, p. 238)
- 丁力波: 看, 那个人正在问路呢。我们过去看看, 那是不是你舅舅。
王小云: 好像是吧。我十年以前见过他, 这十年变化很大。不但他不认识我了, 而且我也可能不认识他了。(汉语课本2, p. 204)
- 王小云: 宋华, 你来帮我一下, 好吗?
宋 华: 你们怎么了? 现在你在哪儿?(汉语课本2, p. 223)

25

比較

チャールズ・N・リーとサンドラ・トンプソン(1976)以来、英語が主語優勢の言語であり、中国語が主題優勢の言語であり、日本語が主語・主題型の言語とされてきた。中国語にとっても日本語にとっても主語(主題)は必ずしも文に現れてこないのだが、中国語の文に主語(主題)が使用される頻度は日本語よりずっと高いのである。このことは「視点の一貫性」に関わっていると考えられる。つまり、日本語は視点の一貫性の強い言語であるので、主題が固定しやすくなるため、そのマーカへの必要度が低くなり、使用しなくても済むというわけである。更に、森田良行(2006)には次のような論述が見られる。

「『私』はあくまで「自己」であり、自己の視点中心に外の世界を一つの成り行きとして把握する。このような態度が述語中心の日本語を生み、その他さまざまな文法的特質を生むことになる。」(p. 214)、「表現者が己の視点で周りの世界(=外)を眺めれば、もろもろの事態・現象は皆、自然の成り行きと考えられ、それを受け止める己は、その“自然”に支配されている存在と考えるわけで、それを受け手の姿勢を助長し、日本語文法の日本語らしい諸現象を発展させていく。」(p. 215)、「日本人は、なぜ自己の視点から状況を把握しようとする傾向にあるのだろうか。外の世界をとらえるのに、自己の視点を中心に据えて、周りの状況を受け止める。いわば周り是自己を取り巻く“外の世界”であり、己はそれを“内の世界”から眺め受け止めている存在にすぎない。」(p. 222)

26

6. ヴォイスについて

- 莉莉: 真抱歉, 让你久等了。
小叶: 没什么。这是你叫我帮你买的书。(入门篇下册p. 107)
- 马大为: 你听着, 来你这之前, 派出所给我打了一个电话, 让我去一下。(汉语课本2p. 228)
- 莉莉: 大后天考听力, 你复习得怎么样了?
直美: 咳, 连电脑也让我给摔坏了, 现在听不了录音了。这急人!(入门篇下册p. 179)
- 林娜: 还好, 汽车被我撞了。如果我被汽车撞了, 就糟糕了。(汉语课本2, p. 225)

28

27

比較

日本語には「人称制限/人称制約」があることは周知の通りである。日本語の場合は、何よりも視点が話し手（1人称・「私」）に固定しやすいので、「人称制限」が生じてきたということになる。それは更に一人称優位の形で、いろいろな文法現象に反映されているのである。ヴォイスとなると、一人称が受身文・使役文・使役受身文などの補語にならないことが特徴的である。それに対して、中国語の場合は、人称制限に存在しないため、一人称は、二人称・三人称と同様にヴォイスの文の主語にもなるし、補語にもなるのである。

29

7. 移動動詞について

30

- ・王小云：还没有检查完呢。你带点儿钱来。
宋 华：好的。你们等着，我马上就**来**。（汉语课本2，p. 224）
- ・傅华夫：我住14楼403。
克雷门：太巧了，我也住14楼，506，欢迎你有空**去**玩儿。（提高篇p. 4）
- ・玛丽：清华大学在哪儿？
张红：在北京大学的东边。有空的时候，欢迎你**去**玩儿。（博雅汉语p. 35）
- ・李雪：有时间**来**我家玩儿吧。（初级口语（I）P. 97）
- ・飞 龙：我叫飞龙，法国人，是大学生。
李钟文：你为什么来学汉语？
飞 龙：**去**法国的中国人越来越多，我希望以后做汉语翻译。你呢？
- 李钟文：是公司派我来学习的。我要现在这儿学习半年，然后在中国工作。（基础篇上册p. 3）
- ・小叶：刚才你**去**哪儿了？
莉莉：我跟治美逛商店去了。（入门篇下册p. 15-16）
- ・小叶：周末你做什么了？
莉莉：我朋友来北京了，周末我陪他**去**长城了。（入门篇下册p. 16）
- ・儿子：我来帮您。
妈妈：不用了，你玩儿会**去**吧。（初级汉语p. 42）

31

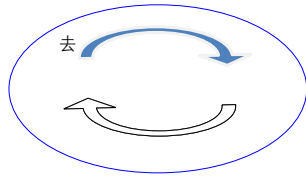
比較

中日両語における「視点」の相違は方向性の移動動詞にも反映されている。日本語の場合は、一人称が相手の居る場所へ移動することを表すのに遠心型の移動動詞である「行く・参る」しか使わないのに対して、中国語の場合は、“来”も使えるのである。相手の視点による表現をすることによって、相手との心理的距離が近いこと、または相手への敬意を表すことができるのである。移動動詞“来”がこのような語用的な機能を担うことが出来ることは、視点の自由さに起因するものだと考えられる。

一方、往復の移動を表す場合には、中国語では“去”、日本語では「Vて来る」が使われていることは、中国語のほうがより類像性(iconicity)を重んじる言語であることを意味しているのではなからう。

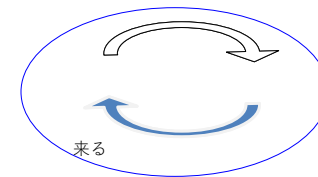
32

中国語の場合



33

日本語の場合



34

8. 結びにかえて

35

視点による対立

中国語	日本語
	感情・感覚形容詞の人称制限
	授受表現の人称制限
	思考動詞「思う」の人称制限
	ヴォイス文の人称制限
	主語・主題の不使用
移動動詞“来”の方向性の緩さ	
姿勢動詞の趨向補語の使用	
場所名詞化の指示詞の使用	

36

参考文献

- 荒川清秀1994「買ッテクルと“买来”」愛知大学外国語研究室『外語研紀要』18号
池上嘉彦2006「＜主観的把握＞とは何か—日本語話者におけるく好まれる言い回し＞」『月刊言語』5月号
大江三郎1975『日英語の比較研究—主観性をめぐって』南雲堂
尾野治彦2018『「視点」の違いから見る日英語の比較と文化の比較』開拓社
影山太郎2021『点と線の言語学：言語類型から見えた日本語の特質』くろしお出版
金谷武洋2004『英語にも主語はなかった』講談社
川上警作、谷ロ一美編2007『ことばと視点』阪大英文学会叢書4、英宝社
甘露統子2004「人称制限と視点」名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻編『言葉と文化』第5号
久野 暉1978『談話の文法』大修館書店
古賀悠太郎2018『現代日本語の視点の研究』ひつじ書房
澤田治美1993『視点と主観性—日英語助動詞の分析』ひつじ書房
ジェラルド・プリンス1996『物語論の位相—物語の形式と機能』遠藤健一訳、松柏社
杉村博文1992「遭遇と達成」『日本語と中国語の対照研究論文集』（下）くろしお出版
須田義治2007「言語学的なナラトロジーのために」『国文学解釈と鑑賞』1月号
諏訪春雄2006「日本語の特色—移動する視点—」『日本語の現在』勉誠出版
田窪行則1997『視点と言語行動』くろしお出版
田代ひとみ1995「中上級日本語学習者の文章表現の問題点—不自然さ・わかりにくさの原因をさぐる—」『日本語教育』85号
田中真理1996「視点・ヴォイスの習得—文生成テストにおける横断的及び縦断的研究」『日本語教育』88号
中村芳久2019『認知文法研究：主観性の言語学』くろしお出版
本多啓2013『知覚と行為の認知言語学：「私」は自分の外にある』開拓社
益岡隆志1992「表現の主観性と視点」『日本語学』8月号
森田良行（2006）『話者の視点がつくる日本語』ひつじ書房。
森山 新2006「視点についての認知言語学的視察」『科学研究費補助金研究 基盤研究（C）課題番号17520253 認知言語学的観点を生かした日本語教育法—認知言語学—』東京理科大学

ご清聴ありがとうございました。